

国道220号 落石・法面崩壊

・宮崎県日南市伊比井において、令和7年5月に大雨により、落石および法面崩壊が発生。現地状況の詳細な把握及び応急対応策の検討のため、TEC-FORCEアドバイザーを派遣し現地調査及び助言等を頂いた。

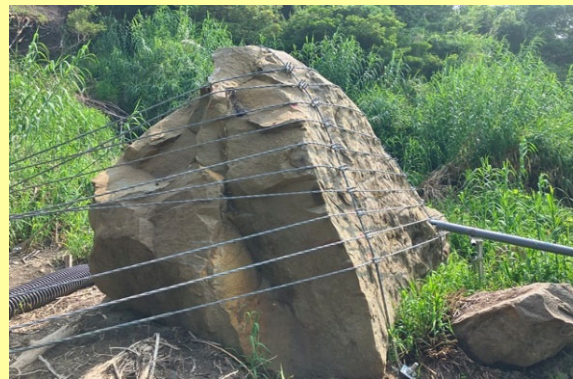
参加者: 宮崎大学 ^{すえつぐ}末次教授

●TEC-FORCEアドバイザーによる現地診断(令和7年5月26日)

被災状況



応急復旧状況



現地確認



【TEC-FORCEアドバイザーの見解】

- ・最下部の転石は不安定な状態であるため、小割除去することが望ましい。
- ・上側の転石は比較的安定しているが、降雨での洗堀や背面の土砂堆積で不安定となるため、ワイヤーロープで固定することが望ましい。
- ・転石の洗堀や背面土砂増加を防止するため、転石上方から下方の沢部へ排水する導水管を設置したほうがよい。
- ・道路への土砂流出を防止するため、沢末端部にある谷止工の背面土砂除去、大型土のう設置などでポケットを確保したほうがよい。